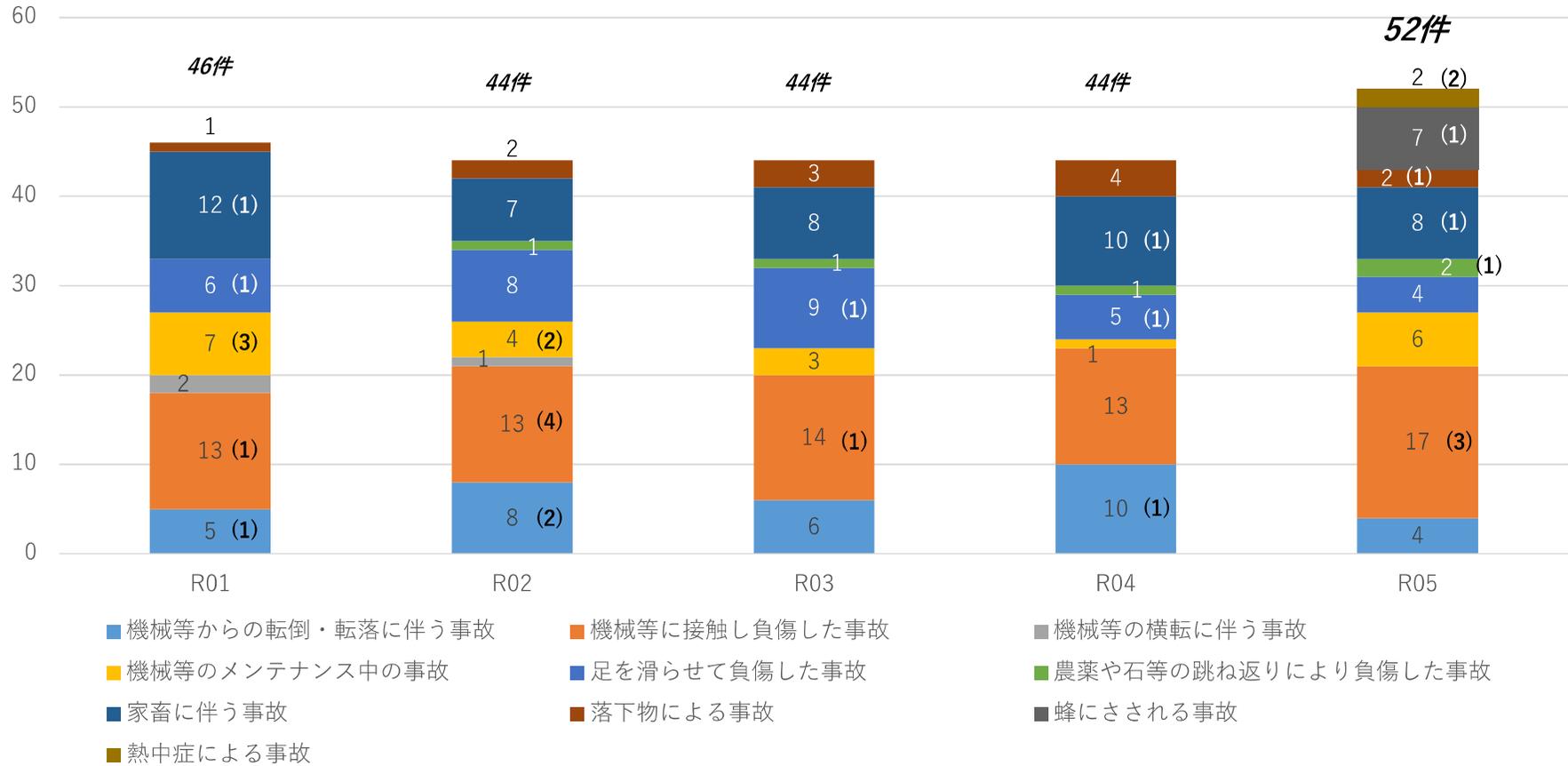


農作業事故防止に向けて

直近5カ年の発生状況



過去5カ年の農作業事故の特徴

- 年間45件前後での推移し減少傾向に至っていない（令和5年度は熱中症や蜂により増加）
- 令和5年度は事故件数52件/営農戸数473戸 \div 10%
10戸のうち1戸は農作業事故が発生しています
- 機械に伴う事故は全体の50~60%
そのうち約半分は機械等に接触し負傷しています

機械等の接触による事故の内訳

作業名	件数	割合	主な機械
収穫作業	27件(5件)	39%	ポテトハーベスター-9 (3)、豆コンバイン5、ビートハーベスター-3、鎌2、脱穀機1(1)、長芋トレーラー1(1)
片付け・清掃作業	7件(1件)	10%	パオパオ巻取機1(1)、つる巻機1、ビーンスレッシャー1
播種・植付作業	6件	9%	トラック荷台2、プランター2
草取り・草刈作業	6件	9%	鎌3、ディスクモア1、草払い機1
機械整備作業	5件(1件)	7%	トラクター2、スプレーヤー1(1)、ポテトハーベスター1
機械取付・取外し作業	3件	4%	プラウ1、堆肥散布機1、ロータリー1
肥料散布作業	3件	4%	フレコンバック2、トラック1
積荷・運搬作業	3件	4%	リフト1、トラック1、野菜運搬機1
牛管理	3件	4%	牛舎内扉、手押しトレーラー、フォーク
耕起作業	2件(2件)	3%	プラウ1(1)、土寄せ用耕運機1(1)
育苗管理作業	2件	3%	
その他	3件	4%	
合計	70件(9件)	100%	

機械等の接触による事故事例と対策

1. ポテトハーベスター

- 1) ポテトハーベスターのドラム部分に石が挟まった為、手で押して取り除こうとした際に右手指を挟めた。
- 2) 選別する部分のローラーに右手小指を挟めて負傷
- 3) 作業機の異音の発生により、確認のため作業機を停車させずに前部に回り込んだところ、転倒しひかれた。（入院）
- 4) 土砂分離を調整するレバーを操作していたところ、ハーベスター後方部のタイヤにひかれた
- 5) 小玉タンク部分に腰かけていた際に運転手が気付かずに小玉タンクを引き上げてしまい、本体とタンクの間で体が挟まり負傷（入院）
- 6) 作業機のバンカーからコンテナへ移す補助作業時に、バンカーとコンテナの間に左手指を挟めた

事故の原因

- ①ローラー等の危険箇所における無理な異物の除去
- ②作業機を稼働しながらの確認
- ③運転者から見えない場所での作業の実施
- ④運転者が作業者に気づかず誤作動による発生

対策

- ①ローラー等に巻き込まれない服装（サイズの合った手袋、腕抜き・足抜きなどの裾を絞った服装、作業着の腰縛りの禁止等）
- ②選別者に対し、無理な異物除去の禁止の徹底
- ③作業機が稼働する際や作業機の周りで作業を行う際は、運転者との意思疎通（声掛け・合図など）を行う

詳しくは下記ホームページをご確認下さい。

(URL : https://www.naro.affrc.go.jp/org/brain/anzenweb/point/point_pdf/mac_02.pdf)

農作業安全情報センター(農研機構) 「●服装を正して巻き込まれ事故を防ぐ」より

2. 豆用コンバイン

- 1) 作業機の駆動部分に豆の殻が詰まり手で取り除いた際、服が巻き込まれ負傷
- 2) 作業機前方のタイヤの回転が悪かったため、コンバインから降りてタイヤを手で回していたところ、左側の刃に手が接触し負傷
- 3) 作業機からダンプへの移す補助作業時に、運転手の操作ミスにより、作業機のアームが顔に接触し負傷

事故の原因

- ①作業機を稼働しながらの異物の除去。
- ②巻き込まれる可能性のある服装。
- ③稼働範囲の危険性について補助者に対する周知不足や、運転者と補助者との意思疎通の不足。

対策

- ①駆動部等に巻き込まれない服装。（サイズの合った手袋、腕抜き・足抜きなどの裾を絞った服装、作業着の腰縛りの禁止等）
- ②異物除去の際の作業機の停止の徹底。
- ③作業機が稼働する際や作業機の周りで作業を行う際は、補助者への危険箇所の周知及び、運転者との意思疎通。（声掛け・合図など）

詳しくは下記ホームページをご確認下さい。

(URL : https://www.naro.affrc.go.jp/org/brain/anzenweb/point/point_pdf/com_01.pdf)

農作業安全情報センター(農研機構) 「●死角に注意」より

●服装を正して巻き込まれ事故を防ぐ

なぜ？

1. 農業機械に手や足等を巻き込まれる事故が多発しています。それらの多くは、衣服が巻き込まれて発生しています。
2. 巻き込まれないように適切な服装で作業します。

ヒヤリ、事故

1. 自脱型コンバインで手こぎ中に、軍手をしていた手がフィードチェーンに巻き込まれそうになった。
2. 収穫したデントコーンをカッターブロワでサイロに投入中、カッターに巻き込まれて入院した。

そこで…

対策ポイント

1. 作業服の袖口を閉じます。
2. 首に巻いたタオルは服の中に入れ、長い髪はまとめます。
3. スカーフやタオルで頬かむりをしないようにします。
4. ズボンの裾は、バンドで止めるか、長靴の中へ入れます。
5. コンバインの手こぎ作業等では、手袋をはずします。
6. 前掛けは、機械に巻き込まれた時のために、肩ひもがホックではずれやすいものにします。

さらに！

追加のヒント

1. 回転中のPTO軸、ベルト等をまたぐのは危険です。
2. ドライブシャフト等には必ずガードをつけ、回り止めチェーンを掛けます。
3. 作業に応じて、手袋、保護メガネ、マスク、耳栓、ヘルメット等も着用します。



●死角に注意

なぜ？

自脱型コンバイン等で旋回時等に転落したり、運転者が補助者に気付かずにはねてしまう事故があります。

ヒヤリ、事故

1. コンバインで後進時に畦畔を乗り越えて転落した。
2. 補助者が機械の後方で雑草を抜いていたが、運転者が気付かずにはねてしまった。

そこで…

対策ポイント

1. 畦畔への乗り上げは必要最小限にします。必要に応じ停車・降車して状況を確認します。
2. 段差のある場所では、速度を落とし、旋回やブレーキの操作は緩やかに行います。
3. 補助者は作業中、運転者の許可無く機械の周囲、特に後方に接近しないようにします。作業の内容、合図の方法、禁止事項等を作業前によく打ち合わせておきます。

さらに！

追加のヒント

後方確認モニターが装備されている機械もあり、後方の安全確認に便利です。しかしながら、カメラの性能や取り付け位置で視野や距離感は、実際に目で感じるものとは異なります。また、死角が完全に無くなるわけではありませんので、過信は禁物です。



3. ビートハーベスター

- 1) 作業機のロータリーバケット内部で石が挟まり、手を挿入し除去した際に、バケット内部で挟まり負傷
- 2) 作業機のバケットリール部分に石が挟まり、両手で取り除いていたが、石で浮いていた部分が元の位置に戻った際に両手に接触し負傷。
- 3) 作業機にビートの葉が詰まったため取り除こうとして、誤ってタッパーの刃に指が触れ負傷。

事故の原因

- ①手による異物の除去。
- ②稼働しながらの異物の除去。

対策

- ①異物除去の際は工具等を活用した作業。
- ②異物除去の際の作業機の停止の徹底。

安全な農作業方法については下記ホームページに詳しく掲載されておりますので、是非ご覧ください。（農作業安全センター（農研機構）より）

URL：<https://www.naro.affrc.go.jp/org/brain/anzenweb/safety/index.html>



- 農作業安全十訓

1. 自分だけは大丈夫、そんなわけはあり得ない
2. 何か起こればまずもって、エンジン停止と心得る
3. 防具・保護具は全ての基本
4. 服の裾、ひらひらタオルが大ごとに
5. トラクター、シートベルトは命綱
6. 夜道では、ないと追突反射材
7. 通りみち、傾斜路・雑草・曲がり角
8. 組での作業は合図を決めろ
9. ケイタイ携帯、居場所も言って
10. 安全ルールはみんなで議論、黙って分かるは夫婦もない

(一般社団法人 日本農業機械化協会より)